

虹を結ぼう

第12号 2003年12月
都議会議員馬場裕子と
市民と都政を結ぶ会

連絡先：〒140-0011 品川区東大井2-6-10 TEL 3474-7441 FAX 3474-2004
ホームページ <http://www1.cts.ne.jp/~babayuko/> E-mail:baba@cts.ne.jp

平和への思いを新たに！

東京都議会議員 馬場裕子

本年も大変お世話になり厚く御礼申し上げます。
新たな年を迎えるにあたり思うのは「世界の人々の平和」です。終戦を挟んで生まれた私の友人には「和子」「和夫」さんが多く、当時の親の思いが現れています。学校を早く復興しようとPTAが活動し先生の給料を立て替えたなどの話も聞いたことがあります。自分たちで教科書に墨を塗り、いつもお腹をへらしていたという学童疎開から帰った先輩たちは、先生から新憲法の授業受けたときの感動を今でも熱く語ります。憲法の前文に「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し〜」とあります。子どもの頃は掃除をしながらお正月を待ちました。

家族でこたつに入りミカンを食べながらゲーム。こんな戦後の復興期に子ども心に感じた「平和」を今の子どもたちに残したいと強く思います。チ

都政の現状は残念ながらバブル崩壊後の景気対策の結果、満期10年を迎える今後数年に亘り多額の都債を償還しなければなりません。又景気の低迷で法人税収が落ち込んでいる中、国の「三位一体の改革」がなされようとしています。全国知事会提言では都市と地方の合意が得られず、地域格差は正が今後の課題です。銀行税は和解という形で終了し成果不明。新銀行の創設はつぶれそうな外資系銀行の買収により、やっと基本スキームが発表されたが1千億の税金を出資して都が作ることが民業圧迫にならないか疑問。

羽田の再拡張、技術の製品化を目的に「ナノテクノロジーセンター」は17年1月設置と城南地域の発展を目指します。

馬場裕子新春の集い

16年1月7日(水)

場所 きゅりあん 6階 大会議室
時間 18時開場 18時30分開会
会費 3,000円
主催 馬場裕子後援会 共催 民主党東京都品川区支部

区議時代より毎年恒例となっております「新春の集い」です。多くのみなさんにご参加いただき懇親を深めていただきたいと思います。是非ご参加ください。 会長 三原一雄

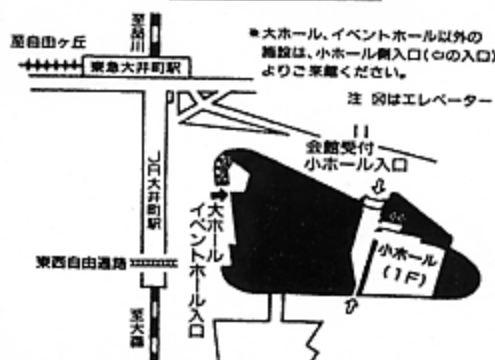


区議の皆様と楽しく手締め



広川先生夫妻と広駒会の伴奏で
唄う区長さんと松原さん

会場ご案内図



委員会質問ダイジェスト



予算特別委員会

●15年2月28日 締めくくり総括質疑

馬場裕子（政調会副会長、品川区）

〈今後の財政改革〉

馬場理事 今以上の財政構造改革を進めようとするれば、歳出全体にしばりをかける仕組みについて都も真剣に検討すべきだ。今後の財政再建の取り組みについて知事の所見は。

知事 国全体の経済動向の見通しは非常に悪く、税収も減っている。このような厳しい状況のなかでやるべきことは、内部努力をこれまで以上に重ね、今の財政再建推進プランよりも厳しく重いプランを樹立することが必要だと考えている。

〈区市町村への事務移管〉

馬場理事 東京都が地方自治体に事務を移管と言っても、区市町村にその気がなければ地方分権は名前倒れだ。先の総括質疑でも尋ねたが、区市町村への事務移管、合併促進について、従来の手法を超えた取り組みが求められているのではないか。

知事 仕事を分けてもらっても行政にはお金がかかるわけであり、税源の分与なしに仕事の責任だけを分与されても困る。今後も引き続き行財政権限の移譲を国に働きかけ、市町村の合併を支援する。

〈食品安全〉

馬場理事 国の食品天然添加物の安全性の評価は立ち遅れている。都はとくに問題がありそうなものについては、独自にリスク評価を行い、なんらかの行政的な対応をとるべきではないか。

長尾健康局長 都はこれまでも国において規格や基準が設定されていない食品等について、先行的な調査・研究を行ってきた。その結果、健康影響が懸念されるなど、対応が必要と判断されたものについては業界団体を指導するとともに国に基準の設定を強く求めてきた。今後とも食品に関する情報を広く収集、分析、評価し、その結果を具体的施策に反映していく。

財政委員会

●15年7月4日 銀行創設問題で質疑…(1)

〈出納長室関係〉

○馬場裕子委員…「6月16日に新銀行に関する調査・検討を税務協会に委託したが、同協会の寄付行為として銀行の設立準備に関する調査が適当かどうか疑問だが」

中路副出納長「新銀行の創設に関係する調査は同協会の事業に該当すると考え、協会の了承も得ている」
馬場委員「都からの派遣23名、民間50名、委託料は4億8600万円という。委託料はどこから出ているのか」
中路副出納長「当初予算にはないので予備費を充当している」
馬場委員「協会への委託目的は」
中路副出納長「銀行創設、中小企業の活性化により東京の地域経済全体を活性化していくほか、ICカードを活用した銀行の決済システム、ICカードを活用したネットワークづくりなども研究対象にしている」
馬場委員「税務協会に委託した設立準備室はどこに設けられているのか」
野口銀行創設準備担当部長「第一庁舎北側35階執務室に「東京税務協会特別調査研究室」を置いている」
馬場委員「家賃、人件費は徴収していないというが、新銀行の準備の経費はその新銀行が持つべきと考える」
津島銀行創設準備担当理事「創設にかかった経費をすべて会社から負担するという法律はなくケースによってさまざま」
馬場委員「準備の段階からそれだけ手厚くすることは自立につながらない。会社の設立までにかかる費用はすべて都が負担するというのか」
大塚出納長「東京都の政策目的を達成するために新銀行をつくるのであり、その利益は都民が享受することになる」

●15年10月2日 新銀行設立構想で質疑…(2)

〈出納帳室関係〉

○馬場裕子委員…「アンケート調査の質問項目を見ると、すばらしい銀行ができるといった記述はあるが、一方で都民がどのような負担をするのかという情報が少ないのではないかと。いいことばかりではないはずであり、そういった情報はいつ開示するのかはいつするのか」
津島銀行設立準備担当理事「現在基本的なスキームについて精力的に検討しており、まさにこれからそのスキームの中身を具体的に示して、それとセットで出資の是非をご審議いただくことになる」